

三重大学広報誌

# 三重大 X

えっくす

vol. 38  
2017 SUMMER

M I E U N I V E R S I T Y X

FREE PAPER



ご自由にお持ち帰りください!



ホットニュース

## COC+

特集:三重創生ファンタジスタって何?

特集

## 留学・留学生

特集

## 共同研究の紹介

速報

文部科学省等支援プログラム

気になるNEWS

スポット/クラブ・サークル

本の紹介

表彰

お知らせ

歴史街道シリーズ



三重大学ホームページからアイコンをクリック!



「@MieUniversity」で検索!



「mieuniversityweb」と検索!

# MIE UNIVERSITY OPEN CAMPUS 2017

## 三重大学オープンキャンパス

\* 学部紹介 \* 学生による紹介  
 \* 体験授業 \* なんでも相談コーナー  
 \* 研究室見学 \* 保護者向け企画

**8/8 TUE** **8/9 WED** **8/10 THU**  
 人文学部 医学部医学科 教育学部  
 生物資源学部 医学部看護学科 工学部

**「4つの力」で世界に伸びよう**  
 生きる力 考える力 感じる力 コミュニケーション力

**受験生、保護者の皆様へ** 三重県、愛知県などで開催する進学説明会等・相談会においても、本学の様々な情報を提供いたします。詳細は、本学ホームページ「入試情報」をご覧ください。

国立大学法人三重大学 学務部入試チーム  
 〒514-8507 津市栗真町屋町1577  
**TEL 059-231-9063**  
 URL <http://www.mie-u.ac.jp/exam/>

**三重大学オープンキャンパス2017** 検索 ※参加にはお申し込みが必要です。申込方法はホームページをご覧ください。

**入試相談会開催!!** 10月1日(日) 三重大学 環境・情報科学館

**生物資源学部 大阪で受験** 出願期間(郵送に限る)  
 平成30年1月22日(日)～1月31日(必着)

### お願 三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学振興基金は、皆様からの『ご寄附』を基金としてお預かりし、地域からの期待に応える大学に成長・発展を遂げるために必要な、学生(留学生を含む。)の教育活動に対する支援事業や教育研究の充実及び教育研究環境の整備等に必要の支援事業に活用させていただきます。みなさまの温かいご支援・ご協力をお願いします。

- 三重大学振興基金事業【幅広く活用させていただく一般事業基金】**  
 三重大学における奨学援助(三重大学修学支援事業基金に規定する事業を除く。)、国際交流及び地域貢献等の一層の進展を図り、もって教育・学術研究の振興に資することを目的とする基金
- 三重大学修学支援事業基金【用途を限定させていただく特定事業基金】**  
 経済的な理由で修学が困難な学生に対して支援を行うことにより、意欲と能力のある学生が希望する教育を受けられるようにすることを目的とした基金(文部科学省から「税額控除の対象となる証明」を受け、三重大学修学支援事業基金へのご寄附が税額控除対象となりました。)
- 三重大学教職大学院奨学金【用途を限定させていただく特定事業基金】**  
 三重大学教職大学院への現職教員の進学を積極的に推進し、三重県で活躍する高度な実践力を備えた教員の輩出に寄与することを目的とした基金

**●募金の方法●**  
 三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、必須事項をご記入の上、郵送下さい。(FAX・E-mailでも受付けております。)また、インターネットによるご寄附も、導入しておりますのでご利用下さい。

**●ご郵送先・お問合わせ先●**  
**三重大学振興基金事務局**【企画総務部総務チーム内】  
 〒514-8507 津市栗真町屋町1577 TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000  
 E-mail: [kikin@ab.mie-u.ac.jp](mailto:kikin@ab.mie-u.ac.jp)  
 URL: <http://www.mie-u.ac.jp/foundation/index.html>



- 近鉄江戸橋(三重大学前)駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅」(06系統)、「千里駅」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「三重大学前」下車。
- 中部国際空港(セントレア)から津エアポートラインで津なぎさまちへ45分  
 1.「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分  
 2. 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分

**三重大学**  
 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577  
 TEL059-232-1211(代)  
<http://www.mie-u.ac.jp/>

三重大学広報誌 二重大 X 「えつくす」  
 vol. 38 2017 SUMMER  
 発行/三重大学広報委員会 編集/三重大学企画総務部総務チーム広報室

三重大学広報誌

# 三重大 X

えつくす

FREE PAPER

vol. 38  
2017 SUMMER

M I E U N I V E R S I T Y X



ホットニュース  
**COC+**  
 特集:三重創生ファンタジスタって何?  
 特集  
**留学・留学生**  
 特集  
**共同研究の紹介**  
 速報  
**文部科学省等支援プログラム**

三重大学ホームページからアイコンをクリック!  
 「@MieUniversity」で検索!  
 「mieuniversityweb」と検索!

気になるNEWS  
 スポット/クラブ・サークル  
 本の紹介  
 表彰  
 お知らせ  
 歴史街道シリーズ

COC+

特集

# 三重創生ファンタジスタって何?



## ★COC+とは?

(プラス)

急激な人口の減少と少子高齢化、さらに若者人口の県外流出により、県内地域の過疎化、経済規模の縮小が懸念されています。この問題を解決するため平成27年に三重大学は文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」に採択されました。採択された各国立大学は地域社会の中心となり、各地域が抱える問題の解決に取り組みます。

今回は三重大学におけるCOC+の2年間の活動を、「三重創生ファンタジスタクラブ」の学生が報告します!



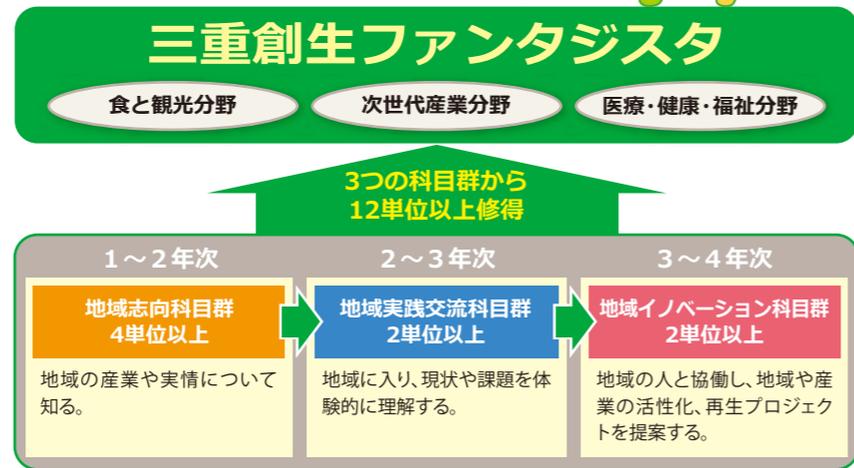
## ★三重創生ファンタジスタ資格とは?

「三重創生ファンタジスタ」とは、他者と協働し地域課題を解決する人材を指します。そのような地域人材を養成するため、三重大学では三重創生ファンタジスタ資格を創設しました。

この資格は県市町や企業と連携して作り上げるため、県内就職先に認知されていて、就職活動をはじめ様々な場面でアピールすることができます!

また、三重創生ファンタジスタ資格をより充実させるため、三重の歴史や文化、産業を学ぶ授業科目や、グループワークを行い主体性を養うPBL※型集中講義も用意されています。三重創生ファンタジスタ資格は進化し続けています!

※PBL (Problem-based learning: 問題発見解決型学習)



## ★COC+ではどんな活動が行われている?

三重大学では三重創生ファンタジスタを養成するため様々な取り組みが行われています。今回はその一部を紹介します。

- (H28年度実施事例)
- 7月 ● 熟議(地域の魅力を知る ~地域にあるもの都会にあるもの~)
  - 8月 ● 林業体感ツアー
  - 農業体感ツアー
  - 9月 ● 水産業体感ツアー
  - 留学生による地域大発見と情報発信ツアー
  - 11月 ● みえリーディング産業展出展
  - 2月 ● 熟議(三重をもっと元気に)



**熟議(グループワーク)**  
地域の魅力はどういったところにあるか、都会の魅力と比較しながら、学生が県内関係者とグループワークを行いました。学生がグループ内の意見をまとめ、発表する等、学生が主役になれるところが熟議の魅力の一つです。



**農業体感ツアー**  
三重県南部の第一次産業を現場で体感し、地域の魅力を発見することを目的として開催しました。三重大学の学生、教職員の他、四日市大学、鈴鹿大学の学生、教職員が参加し、大学間交流もあります。



**熟議(学生発表)**  
第一次産業体感ツアー(林業・農業・水産業)の内容をもとに、第一次産業をどのように盛り上げるか、学生や第一次産業従事者がグループワークを行いました。学生の柔軟な発想が実際に活用されたりすることもあります。

## ★三重創生ファンタジスタクラブとは?

私たち三重創生ファンタジスタクラブ(通称MSFC:Mie Sousei Fantasia Club)は、学生主体で三重県の地方創生に取り組む現場に入り、三重県の活性化に挑戦している団体です。

このクラブで活動することで、新しいことにチャレンジする力や論理的思考力・行動力、チームワーク力が鍛えられます!

**『木曾岬チーム』**  
「木曾岬わいわい隊」というチーム名で活動中!三重県の北東部にある木曾岬町について町歩き等を通して学び、町の中学校の生徒や町役場の方と一緒に町の活性化に取り組んでいきます!

**『29市町PRチーム』**  
「Retake 三重から魅重へ」というチーム名で活動中!三重県の29市町のPR動画を作成しYou Tube常にアップしています!

**『もち菓子チーム』**  
三重県のもち菓子の調べ学習、学内アンケート、企業へのインタビュー等を行って、三重県のもち菓子について知り、もち菓子業界が抱える課題の解決策を探っていきます!

**『広報チーム』**  
三重創生ファンタジスタや三重創生ファンタジスタクラブに関する情報をSNSやブログで発信します!

## ★クラブで活躍する学生にインタビュー!★



生物資源学部 資源循環学科 1年 藤田 彩花 さん

**Q1. なぜMSFCに入ったのですか?**  
A. テーマの中でどのように活動していくかを自分たちで決めることができるので、自由度が高く楽しそうだったからです!

**Q2. 三重創生ファンタジスタとして将来どのように活躍したいですか?**  
A. オリジナリティのある意見を提案して、地域の活性化に貢献したいです!



人文学部 法律経済学科 1年 山下 響 さん

**Q1. なぜMSFCに入ったのですか?**  
A. 三重県出身のため、何か三重県に関わりたいて考えていました。三重創生ファンタジスタを目指しつつ、様々な活動に参加できることが一番の魅力です。

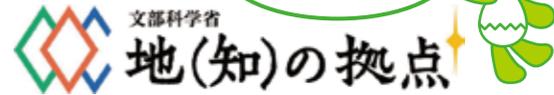
**Q2. 三重創生ファンタジスタとして将来どのように活躍したいですか?**  
A. 大学を卒業してからも三重で生活したいと考えているので、積極的に三重県に貢献できる人材になりたいです!

私たちが書いているブログです <http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/chiiki/blogs-by-students/>



「@MieSFC」で検索!

COC+の取り組みを 発表していきます!!



執筆 三重創生ファンタジスタクラブ広報チーム



# 世界とつながる三重大の取り組み

## ◎ 留学生の活動 ～世界から三重大へ!～

三重大の外国人留学生は2017年5月1日現在で295名、32の国と地域の出身者が在籍しています。国籍別では、中国からの留学生数が135名と全体の半分近くを占めますが、韓国、インドネシア、ベトナム等、東アジア・東南アジア諸国からの留学生が多く、欧州地域ではドイツから15名の留学生を受け入れています。

三重大に在籍する留学生たちは、地域との国際交流活動を数多く行っています。その活動の一部をご紹介します!

### 津市国際交流デー

2016年10月、お城西公園で開催された「津市国際交流デー」に三重大の留学生が参加しました。中国、インドネシアの留学生たちがそれぞれの国の伝統料理を振舞う「国際屋台村」を出店しました。



### 参加者インタビュー

中国人留学生のグループ6.7人で企画をし、屋台で中国の伝統的な料理「ジャンピー」を販売しました。母国を離れ心細いこともある中で、このような交流の機会は楽しく、自分の国の料理を食べてもらえるのも嬉しかったです。

エルドンオチル さん  
(中国)

また、ステージで馬頭琴の演奏も披露しました。同じステージに出ていた他の留学生や地域のひとと仲良くなり、他のイベントにも参加してみようというモチベーションにもつながりました。大変なこともありましたがそれ以上により経験でした。また機会があればぜひ参加したいです。

### セカンドホーム

セカンドホームは、「ホームステイではないけれど、日本の家族に」をテーマに、三重大留学生とホストファミリーが、留学生を自宅に招いたり、どこかに遊びに行ったり、といった交流を継続しておこなうプログラムで、1999年から三重大と津市のボランティア団体「ホームステイ・イン津」が協力しておこなっています。一学期に一度、留学生とホストファミリーを引合わせるパーティーが開かれ、交流がスタートします。2016年度後期は中国、インドネシア、ドイツなどの留学生18名が参加しました。



### 参加者インタビュー

セパタリス ベルナデッタ パルフシフ さん  
(インドネシア)

ホストファミリーとはスケジュールを合わせて、一緒にご飯を食べに行ったり、家に招いてもらったりといった交流をしています。私のホストファミリーは歳も近くて、興味のあることも似ているので、いろんなことを話します。映画や音楽、勉強の話、日本での生活で困ったことを相談することもあります。家族でもあり友達でもあるような関係で、交流はとても楽しく、これからも続けていきたいです。

### 県内の学校での交流

#### 椿小学校

2017年1月、鈴鹿市立椿小学校の行事「椿ワールド」にフランス、韓国などの留学生が参加しました。留学生は各学年でグループ発表を見学し、一緒に給食を食べるなどして児童と交流しました。



#### 飯野高校

2017年5月、三重県立飯野高等学校からの依頼を受けて、「多文化理解」をテーマとした授業の講師として留学生を派遣しました。留学生は1.2年生約40名、3.4年生約15名の前で、出身国の伝統や行事を紹介しました。その後の質疑応答の際には、高校生から「日本に来たきっかけは」「日本での留学で困ったこと」などの質問がありました。

### 参加者インタビュー

グエン ティー ジェウ ヒエン さん  
(ベトナム)

最初は大人数の前での発表に緊張していましたが、高校生は自分と年齢も近く、真剣に聞いてくれたので、だんだん緊張がほぐれていきました。日本に来て6年になりますが、このように地域と交流できることはとても楽しいです。

## ◎ 海外留学プログラム～三重大から世界へ!～

三重大では2016年度、30を越える留学プログラムが実施され、海外渡航学生は451人となりました。その中でも特に規模の大きなものをご紹介します。

### Tri-U国際ジョイントセミナー&シンポジウム



Tri-U国際ジョイントセミナー&シンポジウムは、三重大(日本)、チェンマイ大学(タイ)、江蘇大学(中国)の3大学が交代で主催をしている国際交流を兼ねた論文発表会で、1994年に始まり今年が24年目となります。2011年度からは新たにボゴール農科大学(インドネシア)が主催校に加わり、例年アジアの10数大学が参加しています。

昨年2016年はインドネシアのボゴール農科大学で開催されました。三重大からは選考された15名の学生が参加し、英語でテーマごとに研究内容の発表を行いました。

2017年は、10月23日(月)～27日(金)、三重大での開催です!



### 参加者体験談



永谷 良介 さん  
生物資源学研究所  
共生環境学専攻  
博士前期課程 1年

参加のきっかけは、前年度に参加していた先輩から「成長できる」と勧められたこと、海外での異文化交流に興味があったこと、4年間の大学生活の締めくくりとして何か挑戦したいという気持ちからでした。英語はあまり得意ではないため、最初は不安も大きかったのですが、英語での発表内容を暗記したり、問答をシミュレーションするなど、一ヶ月前から念入りに準備をして挑みました。

当日にはその成果が出て、発表を楽しみ余裕もできました。英会話にも自信が付き、研究に関してなら今でもすぐに英語で説明できるくらいです。期待以上に成長できました。

他大学の学生との交流も魅力の一つです。現地では日本人で固まらず、他の大学の学生と積極的に交流しました。特にタイの大学生と仲良くなり、今でも英語で連絡を取り合うなど交流が続いています。

三重大で開催される今年度はボランティアとして参加します。「もう一度かかわりたい」そんなふうに思える経験でした。

### シェフィールド大学 短期海外研修



教養教育では、2015年4月から英語特別プログラムを開始しました。TOEIC高得点者を対象とした1年次のみ受講できるカリキュラムで、英語を母語とする教員による授業などを通じて1年間実践的な英語力を磨きます。その集大成として、春休みに3週間の短期海外研修に参加することができ、2年目となった2016年度は56名の学生が参加しました。

海外研修参加者は、シェフィールド大学英語教育センターのアカデミック英語入門コース"Pathway"を受講し、多国籍の留学生との混合クラスで英語の授業や大学教員による講義、日帰り研修旅行などの研修を受けました。また、研修期間中は、イギリス人の家庭にホームステイしました。



### 参加者体験談



倉田 園加 さん  
工学部  
分子素材工学科 2年

英語コースでは、最初にテストがあってレベル別にクラス分けされ、各国からの留学生と共に10人ほどの少人数クラスで学びました。授業はプレゼンなどもあり、主体的に話す機会が多かったのが印象的でした。

放課後の時間は、ホストファミリーと過ごしたり、イベントやスポーツなどのアクティビティに参加してシェフィールド大学の学生と交流したり、いろいろな過ごし方ができました。私はホストファミリーと過ごすことが多く、イギリス料理を馳走してもらったり、ちらし寿司など日本料理を振舞ったり、ホームステイならではの交流を楽しみました。

様々な交流を通じて、自分の伝えたいことが伝えられないもどかしさを感じ、自分の英語力の足りなさを痛感しましたが、一方で、そのことがもっと頑張らなくてはというモチベーションにつながりました。

また、うまく話せなくてもジェスチャーなどを交えて、「なんとか話してみよう、伝えよう」とする積極性が身につきました。

特集

# 共同研究の紹介

三重大学における同一県内中小企業との共同研究件数は全国でも3位と、共同研究活動を積極的に推進しています。  
〔平成27年度 三重大学等における産学連携等実施状況について（文部科学省より）〕  
今回は、そんな三重大学と地元企業・自治体との共同研究の一部を紹介いたします！

## 地域の伝統を守る共同研究

### データベース開発

三重大学大学院生物資源学研究科・教授 梅崎 輝尚 × 志摩市

#### きんこ芋増産のためのデータベースの開発!!



志摩市 観光商工課 里中 亮太  
※平成29年4月、農林課から異動

志摩市は平成24年度より、6次産業化推進事業の中で本市の郷土食である「きんこ」（干し芋）の推進に取り組んでいます。三重大学とは平成25年度に「志摩市、立命館大学、三重大学の連携協力に関する協定」が締結され、本協定をもとに、きんこの推進を実施しています。

きんこの増産にあたっての課題は、人口減少に伴い圃場管理が困難になりつつあるとともに、多くの技術やノウハウが必要なため、新規参入が難しくなっていることが挙げられます。この課題を解決するために、官学連携事業として三重大学大学院生物資源学研究科（梅崎教授、長屋准教授）と協力して、汎用性農作業デジタル記録帳を利用し、本市のきんこ担い手育成事業「きんこ塾」にて栽培画像データの収集・活用を行いました。今後、本データをきんこ作りの担い手となる方々に活用していただく方法を検討し、きんこ生産の更なる発展につなげていきたいと思ひます。

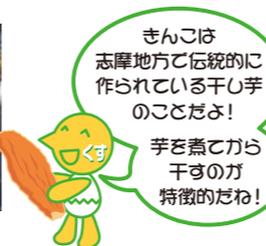


三重大学大学院生物資源学研究科 教授 梅崎 輝尚

作物生産における安定多収技術の開発という農学分野で、最も基本的な研究を行っています。三重県内には伝統的な農作物が数多くありますが、ほとんどの品目で需要があるにもかかわらず、後継者不足で生産量が減少しています。サツマイモ（品種はハヤトイモ）を加工した、志摩市のきんこ芋もその一つです。長年受け継がれてきた栽培・加工技術を時代のニーズに合わせて改良しつつ次世代に伝えていくため、スマートフォンによる画像と簡単なメモをセットにすることで、生産者のグループ内で利用する情報共有システムを開発しました。時間やコストをかけずに情報を蓄積・共有できます。生産者グループでの技術向上・伝承を助けるツールになると考えています。



きんこ塾の様子。栽培から順を追ってきんこ作りをレクチャーします。



きんこは志摩地方で伝統的に作られている干し芋のことだよ！  
芋を煮てから干すのが特徴だね！

- 名称 志摩市
- 所在地 〒517-0592 三重県志摩市阿児町鶴方3098番地22
- URL <https://www.city.shima.mie.jp/index.html>

### 官学連携による調査研究

三重大学大学院生物資源学研究科・准教授 倉島 彰 × 志摩市

#### 磯焼けの現状と藻場再生の取り組み!!



志摩市 産業振興部 水産課



三重大学大学院生物資源学研究科 准教授 倉島 彰

志摩市の海域では、海底の海藻類が極端に減少による「磯焼け」が近年顕著であり、平成26年度から県・漁協・地元の漁業者と協力して、藻場再生の調査に取り組んでいました。特に、ガンガゼ（ウニの仲間）による食害の可能性があったことから、志摩市と三重大学との官学連携協定に基づき、藻場に精通している倉島准教授と共に「藻場と磯焼けに関する調査研究」を開始しました。

海域での調査については、豊富な調査経験と複雑なデータ収集が必要であり、総合大学である三重大学の強みであると感じました。本調査では潜水調査に加えて、ドローンを活用した上空から藻場の撮影調査も実施し、海域の現状も把握することができました。

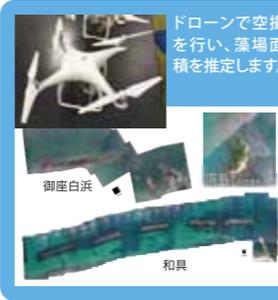
今回の調査結果は、関係者と共有し、今後の藻場再生に活用して行きます。

海産大型植物である海藻・海草の生理生態の研究を専門にしています。潜水などの野外調査や培養などの室内実験で、環境と海藻・海草の生育条件の関係や海藻増殖手法を研究しています。

この共同研究では、ドローンとSCUBA（スキューバ）潜水によって上空と水中の両面から志摩市の磯焼けの状況を判断し、藻場再生に必要なコストを推定することを目的としました。

三重県では南部に磯焼けが多いのですが、徐々に北へ拡大しており、志摩市はその最前線にあります。今回の調査でも、志摩半島の東部には藻場が、南西部には磯焼けが確認されました。今後は、磯焼けの状態を継続的にモニタリングすることが重要になると思ひます。

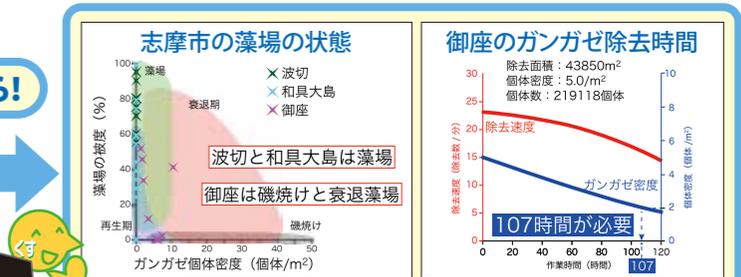
#### 磯焼けの対策は調査に基づく現状把握から!



ドローンで空撮を行い、藻場面積を推定します。



海底調査の様子。1×1mの枠を設置し、枠内の海藻の被度、ガンガゼの数、藻食動物の数を調査することで、海底の環境を推定します。



志摩沿岸の藻場の磯焼けの現状や、ガンガゼの生息数や除去に必要な時間を推定できます。

大自然が相手だからこと、しっかりと調査が必要なんだよ!

- 名称 志摩市
- 所在地 〒517-0592 三重県志摩市阿児町鶴方3098番地22
- URL <https://www.city.shima.mie.jp/index.html>

SP渦巻ポンプの改良・開発 三重大学大学院工学研究科・准教授 安藤 俊剛 × (株)帝国機械製作所

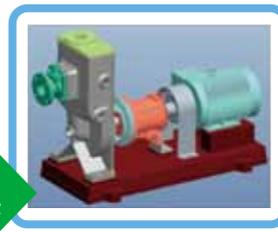
遮熱性舗装の開発 三重大学大学院生物資源学研究科・教授 石黒 寛 × 朝日土木(株)

技術の進歩を促進する共同研究

もっと高く、もっとコンパクトに! たて型のSP渦巻ポンプを開発!!



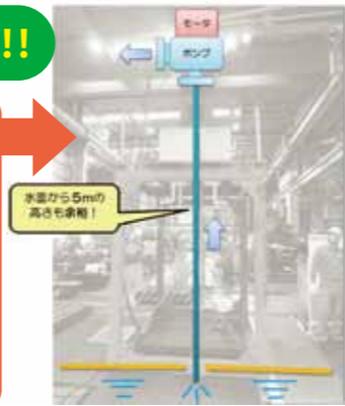
技術提供、  
新たな実験方法



揚付面積1/3!  
コンパクト化に  
成功!!



「たて」の簡単な構造に  
することでコンパクト化!  
(部品点数は約半分!)



水深から5mの  
高さも稼働!



株帝国機械製作所  
代表取締役社長 吉田 久

弊社で製造している「渦巻ポンプ」は社会のあらゆる場所に水や油を送り出すいわば「社会の心臓」ですが、使用時には水が流れる吸込配管の空気を抜き切らないといけない不便さもあります。

この点を補って便利に使えるのがSP(self-priming: 自分で空気を吸う)渦巻ポンプです。今回開発したものは井戸水等にも利用でき、5m下にある水面から特殊な装置なしに単独で水を汲み上げることができます。

ポンプの性能には大小色々な要因が複雑に絡んでいて、本当に大事な「ツボ」が見つかりにくいのが悩みのタネでした。そんな時、三重で教わった可視化実験のテクニックや実験計画法により、結果を適切に解析してツボを見つけることができるようになりました。

共同研究で培った実験的視野を基に、今後も魅力ある「社会の心臓」を開発してまいります。



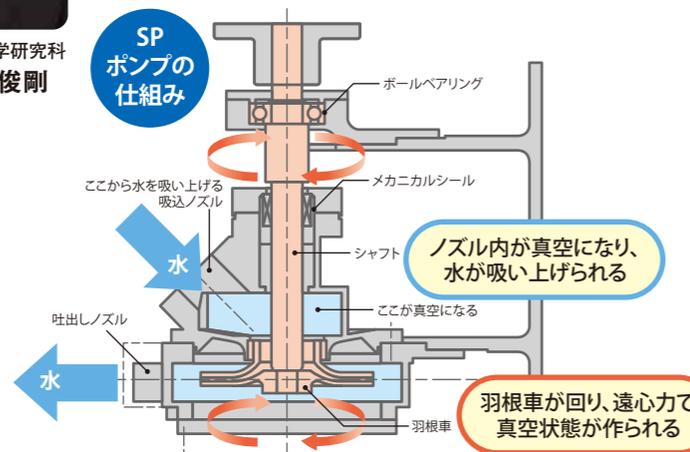
三重大学大学院工学研究科  
准教授 安藤 俊剛

私は工学研究科機械工学専攻で、主に管内流の損失(管路系内の急縮小・急拡大、合流、曲がりなどの要素を通過すると、流れのエネルギーが減少する)の低減の研究をしています。

ポンプなどの流体機械は、私の専門とするところではなかったのですが、帝国機械製作所との共同研究で、主に自吸(SP)ポンプの自吸性能の向上に関わりました。

帝国機械製作所側は大まかに解決法がわかってみえたので、私はそれを試す方法について提案し、その選択肢の中からの性能向上に繋がるものの抽出において三重TLO※の助力を得て、目標性能に到達しました。

※TLO (Technology Licensing Organization) とは、大学などの研究成果や新技術を産業界に移転するための「橋渡し」役となる組織です。



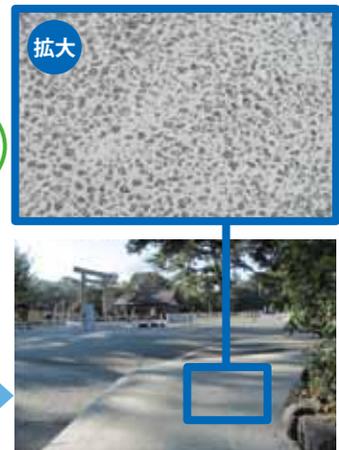
共同実験の様子

SPポンプの様子。  
自分で空気を吸い、真空状態を作っています。

- 名称 株式会社 帝国機械製作所
- 所在地 〒515-0041 三重県松阪市上川町3456
- 事業内容 陸船用ポンプの製造・販売
- URL <http://www.teikokupump.co.jp>

地域の素材を活用した共同研究

カキ殻を利用した遮熱性舗装「シェルペーパー」の開発!!



朝日土木(株)  
代表取締役専務 山中 正善

朝日土木株式会社は三重県の四日市市に本社を有し、土木建設業及びリサイクル事業を営む会社です。

カキ殻粉末を混合したコンクリートブロックの試作中に、真夏の炎天下に置いた養生中のブロックの表面温度が「ひんやり」としているのを持ち上げたとき偶然気づき、路面の温度上昇の小さいアスファルト舗装の実現に応用できないかと考えました。平成20年に朝日土木株式会社伊勢営業所にて研究と実証試験を開始し、同年10月から三重大学大学院生物資源学研究科の石黒教授と共同研究を開始しました。様々な角度からカキ殻モルタルを充填したアスファルト舗装の物性試験を行い、平成25年7月5日に特許登録されました。

真夏の炎天下において、その表面温度は従来のアスファルト舗装と比べて10℃以上低く抑える事ができることを確認でき、ヒートアイランド現象の抑制効果が期待できます。また、表面を研磨することにより大理石状の研ぎ出し面となり、景観上にも楽しさを楽しむことができます。カキ殻粉末は、鳥羽かき殻加工センターで製造された製品であり、天然素材を利用した遮熱性舗装です。

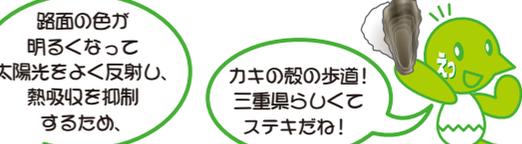
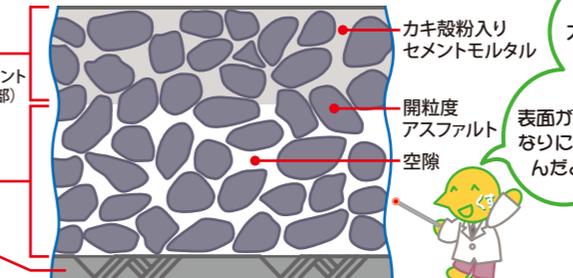
微力ではありますが、ヒートアイランド現象の抑制に役立つことができましたならば幸いです。



三重大学大学院生物資源学研究科  
教授 石黒 寛

ダム、頭首工、水路といった農業水利施設について、施設の耐久性や安全性、施設の維持管理における点検方法、リサイクル材料の有効利用などの研究を行っています。

共同研究では、主に、カキ殻を用いたセメントモルタルの特性について、また、夏季における舗装路面の温度低減効果とその機構について調べました。カキ殻を用いた舗装は、路面の色が明るくなって日反射率が大きくなるため温度上昇を抑制できることが確認できました。共同研究をきっかけにリサイクル材料の研究を行うようになり、現在も様々な素材を用いて建設材料における環境負荷軽減や有効利用の実験を続けています。



- 名称 朝日土木 株式会社
- 所在地 〒510-0033 三重県四日市市川原町32-1
- 事業内容 土木(築堤護岸、橋梁、管敷設、造成)、舗装、建築、水道施設、企画、調査、設計、試験、合材販売、建設産業廃棄物処理
- URL <http://www.asahidoboku.co.jp/index.html>

# 速報 文部科学省等支援プログラム

平成28～33年度 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム(慢性の痛みの領域)

<https://www.hosp.mie-u.ac.jp/chrpain/>



## 三重大学・鈴鹿医療科学大学合同「<sup>どうつう</sup>地域総活躍社会のための慢性疼痛医療者育成事業」

痛みは、「体で起こっているよからぬこと」を知らせる警告信号ですが、痛みの原因がなくなっても痛みが持続することもあります。3か月以上継続する痛みを「慢性の痛み」といいますが、高齢者では慢性の痛みを持つ人が多くなります。一方、若者でもケガの後に痛みが長引く人もいます。実際、その人の痛みは本人にしか分からないので、本人がどのように感じるかが大切です。心理的要素により痛みは、軽くなったり、重くなったりする側面があるのも事実です。慢性の痛みのため、日常生活や仕事に支障をきたす場合もあり、痛みそのものを和らげることは、多くの人々にとって、重要な課題です。

文部科学省は、医療者としての免許を取る前の教育を中心に、厚生労働省は、免許取得以降の生涯教育を中心に、国民と社会のニーズに応える施策を講じています。文部科学省では、「課題解決型

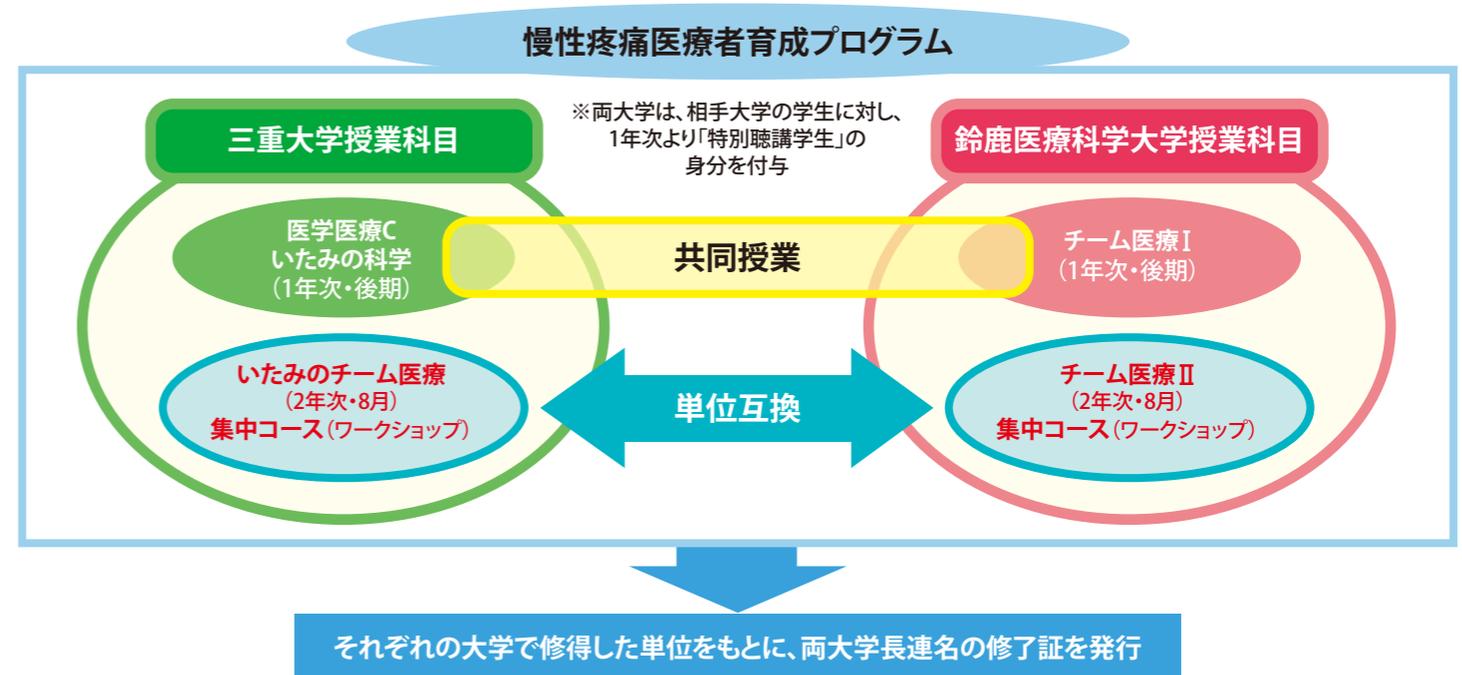
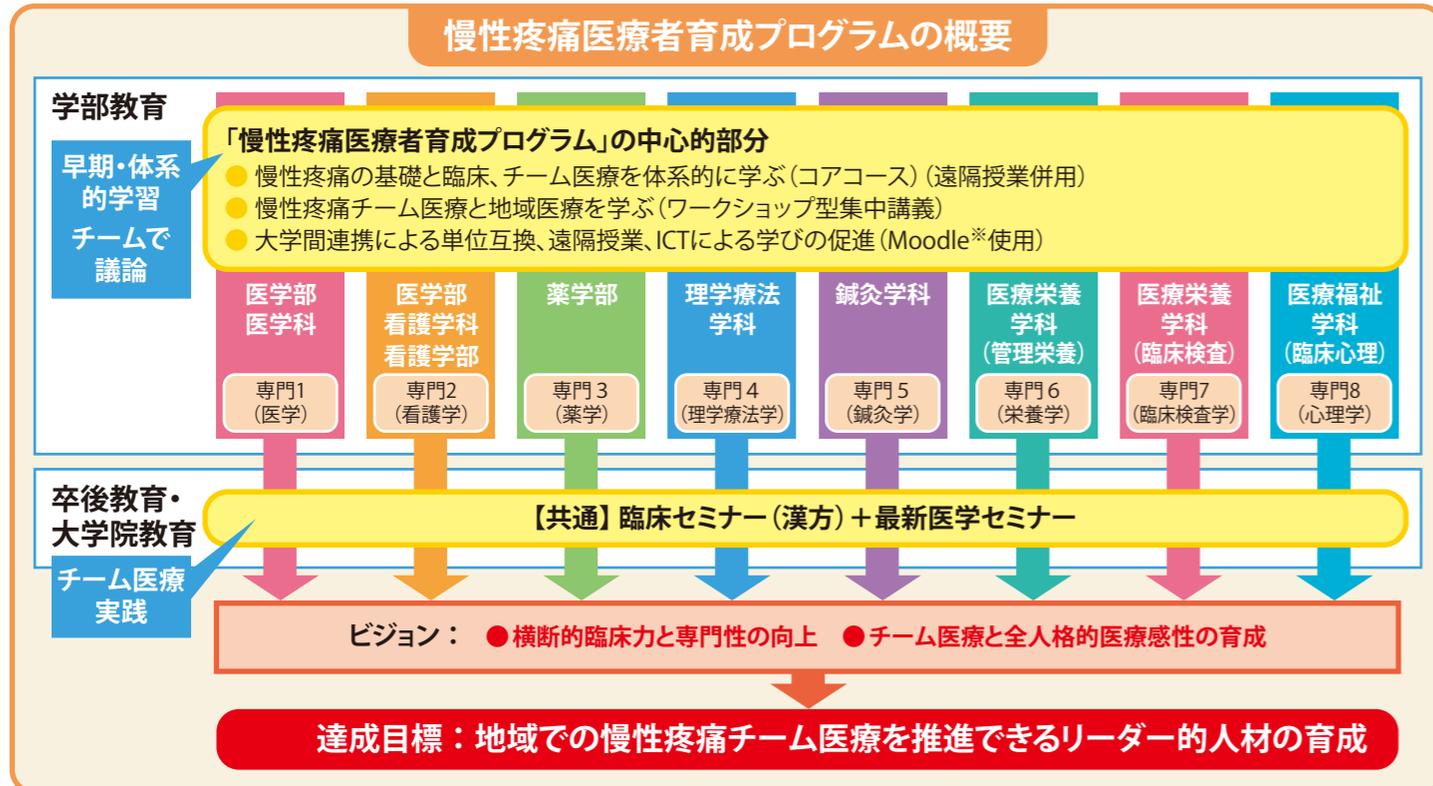
高度医療人材養成プログラム」のテーマを毎年設定していますが、28年度のテーマは、「慢性の痛み」でした。つまり、慢性の痛みという課題を解決する、高度医療人材を養成するための卒前教育の必要性が社会のニーズとしてクローズアップされたのです。そこで、医学部(医学科・看護学科)を擁する三重大学とメディカルスタッフを養成する鈴鹿医療科学大学が合同で、応募した「地域総活躍社会のための慢性疼痛医療者育成事業」が採択されました。

地域総活躍社会とは、慢性の痛みのため、仕事や日常生活に支障をきたすことなく、皆が活動できるような社会という意味です。そのような社会に貢献できるような、医療人材を学生のうちから育てるためのコースを構築しました。

「慢性の痛み」では、神経そのものが原因となっている場合があります。これに対する対策は「痛みを感じる時間そのものを少なくする」です。これにより、敏感となってしまった痛み担当の神経の感受性が落ちてきます。つまり、警告信号としての痛みの原因がないのに痛みがある場合、痛みそのものを軽減することが根本的治療となるのです。具体的には、薬、注射が念頭にうかぶと思いますが、実は、生活の工夫、理学療法・作業療法(リハビリ)、ストレッチ、鍼灸治療、心理療法、温熱療法、栄養指導(筋肉の保持)などを総合的に駆使するのが最先端の対策なのです。そのためには、各専門知識と技能

を持つ多職種によるチームアプローチが必要です。そして、チームを形成するには、知識などの共有とコミュニケーション能力が求められます。

そこで、三重大学と鈴鹿医療科学大学では、医師、看護師、薬剤師、鍼灸師、理学療法士、栄養士、臨床心理士、臨床工学士などを目指す学生が、痛みに関して、学部入学早期に共に学び、修了時には慢性疼痛の基礎と臨床について理解を深め、多職種連携によるチーム医療の意義と全人的医療を身につける、系統講義および体験型集中授業を新設しました。



三重大学と鈴鹿医療科学大学を遠隔回線をつなぎ、各職種に進む学生が痛みをテーマに同じ授業を受講します。講義は各職種の専門家が担当しますが、三重大学では医学部以外の学生にも、教養教育の授業科目「医学医療C いたみの科学」を受講可能としました。この15回の講義を受けた学生に対し、翌年の夏に専門科目とし

て、3日間の集中ワークショップを行い、痛みに対する生活者としてのアプローチ(漢方・鍼灸・ストレッチ・栄養を含む)を体験し、チーム医療の基礎となるチームについて考え、多職種医療チームのシミュレーションを体験します。



**1月12日**  
平成28年度  
医学部医学科白衣授与式

講堂大ホールにおいて、白衣授与式を開催し、医学部医学科の4年生122人が出席しました。駒田学長、緒方医学部長をはじめとする7人の授与者から出席するすべての学生に白衣が授与され、学生たちは、真新しい白衣に袖を通しました。



**1月26日**  
林家菊丸  
三重大学社会連携特任教授  
特別落語講座

菊丸社会連携特任教授が「落語に必要な芸事いろいろ」というテーマで講義を行なった後、上方落語の「浮かれの掛け取り」を上演しました。平日にもかかわらず学内・学外あわせて60人を超える来場者がありました。実演を交えて説明をする場面では来場者から笑いや感嘆の声が上がりました。



**1月28日**  
ポストジュニア・サミットinくわな2017

次世代を担う県内の高校生、本学の学生やドイツ、スウェーデン、韓国、中国、台湾からの留学生、計6か国80人が桑名市六華苑に集まり、ワールドカフェ形式の分科会において活発な意見交換を行いました。まとめられた提言書は伊藤桑名市長へ手渡され、桑名市の政策に反映されることとなりました。



**1月31日**  
ノーベル物理学賞受賞  
「益川敏英博士講演会」

益川博士から「学問と平和について考える」をテーマに講演いただきました。講演後は、益川博士の考える平和の観点から見る原子爆弾に対する核の抑止力についてや、今後の日本の軍事研究など、活発な質疑応答が行われ、有意義な講演会となりました。



**2月13日**  
三重大学アカデミックフェア2017

本アカデミックフェアは学生・院生や教員らが異分野を専門とする聴衆に対して、自身の学習・研究の意義、内容、成果を分かりやすく伝える機会として毎年開催されています。ポスター発表が行われ、参加者はそれぞれ興味のあるポスター前で発表者の説明に熱心に聞き入り、活発な交流が行われました。



**2月17日**  
“伊賀サテライト”設置に伴う  
連携協力結末式

本学では、地域創生への貢献を重点施策と位置づけており、平成28年度から「地域拠点サテライト構想」をスタートさせました。本結末式では、相互の連携・協力の再確認と今後の更なる結束の約諾として、「三重大学地域拠点サテライト 伊賀サテライト設置に伴う連携協力に関する覚書」に調印しました。



**2月22日**  
「お伊勢さん菓子博2017」  
入場券贈呈式

三重県民共済生活協同組合より本学の留学生へ「お伊勢さん菓子博2017」の入場券を贈呈頂きました。贈呈いただいた入場券で80人の留学生が菓子博に入場し、日本の伝統的な形をモチーフにした工芸菓子を見学し、その精巧さに感銘を受けました。また、各地の銘菓を購入するなど、日本の文化に触れる貴重な機会となりました。



**2月24日～26日**  
「MAE展」開催

MAE展【MAE -まえ- 展(Mie Art Education)】は三重大学教育学部美術教育コースが美術教育授業の一貫として、学生主体で企画運営する展覧会です。第6回となる今年のテーマは「知る」です。そして、展覧会のモチーフは、テーマにちなんで「虫がね」としました。作者の作品に対する考えを虫がねでのぞき、自ら探求しにいけます。



**3月9日**  
平成28年度  
「みんなで農業を考える会」

本学から20人、高野尾地区の農家から16人が参加して、本会の活動報告を行いました。生物資源学部生の大串浩平さんが「農産物直売所に対する生産者の出荷要因とニーズの把握」を報告しました。続いて、高野尾地区の農家の方2名が「ヨモギ研究会の現状」と「サトイモ特産化の取組み」について、株式会社赤塚植物園研究開発部の長谷川幸子氏が「エディブルフラワーへの取組み」について報告されました。



この日は大学の先生や学生が直接、農業者のみならずご一緒、今の農業問題を考える場として昨年より始まりました。

**3月12日**  
忍者文化研究プロジェクト  
レクチャー・デモンストレーション2017  
(アメリカ)

ハワイ大学マノア校にて開催され、山田雄司人文学部教授と川上仁一社会連携特任教授が講演とデモンストレーションを行いました。会場に集まった50人ほどの参加者に忍者の実像について講演したところ、忍者はどのような修行を行ったのか、日本に行きつて修行をしたい、などの質問や意見が相次ぎ、関心の高さがうかがえました。



**3月23日**  
平成28年度  
「高等教育コンソーシアムみえ」総会

本総会で今後高等教育コンソーシアムみえ※がどのような役割を果たしていくのか、構成機関にとってどのような意義があり、そのためにどのような体制が必要か等について意見交換が行われました。



※高等教育コンソーシアムみえは三重県内の高等教育機関と地域社会とが深く結びつき、大学の発展と地域の活性化を実現する取り組みです。

**3月31日**  
県内全29市町との  
協定締結を実現

三重県の地域創生戦略の一つとして取り組んできた、県内全29市町との協定締結を実現しました。今後は地域創生の実践に関する諸課題への的確な対応や、本学における教育研究、各市町における地域振興に資するプロジェクトの実施を目指します。



**4月19日～21日**  
第1回就職ガイダンス  
「就活スタート!必要な準備って?」

新3年生・大学院1年生を対象として就職ガイダンスを開催し、3日間で879人の参加がありました。講演では、企業側の人事担当者目線で製作された採用面接ビデオの上映もあり、参加学生は1年後の就職活動での自分の姿をイメージすることができました。



**4月21日**  
キャリアピアサポーター上級認定式

本学では、学生が学生の生活や修学を支援する「ピアサポーター」の養成のために、所定の科目を履修した学生に対して、本学の学内資格である「キャリア・ピアサポーター初級資格」、または「キャリア・ピアサポーター上級資格」を認定します。今回の上級認定式では人文学部3年の石崎千晶さん、井谷穂乃香さん、小林真菜さんの3人が上級資格を取得し、駒田学長から一人一人の学生へ認定証が授与されました。



**4月29日・30日**  
本学学生が天満地域で  
甘夏加工製造・販売

本学の東紀州サテライトおよびNPO法人天満浦百人会メンバーが主体となって、本学学生による甘夏加工品製造・販売を行いました。活動を通して、尾鷲地域の良さや可能性を実感し、本学を中心とした大学生と尾鷲(天満庄)の交流を盛り上げ、今後の連携プロジェクトに繋げていきます。29日は加工品づくり、30日には地元市場・スーパーマーケットにて販売を行いました。



**5月18日**  
卓越型リサーチセンター  
キックオフシンポジウム  
「研究の深化と地域連携の創生」

本学の特色であるバイオサイエンス、次世代エネルギー、ナノテクノロジー等の研究分野を重点的に発展させるために、学内のみならず学外の研究機関や企業との研究を支援・推進する3つの卓越型リサーチセンターを本年度設立しました。今回のシンポジウムでは、各センター長がそれぞれの研究内容や活動について、最先端トピックスや将来ビジョンを交えて紹介しました。150人以上の方に参加いただき、盛況のうちにシンポジウムは終了しました。



**5月20日**  
アควア・ソーシャル・フェス  
in松名瀬2017!!

本学や地域住民、企業、メディア、松阪市、三重県、トヨタ自動車(株)などの連携事業として、三重県初のラムサール条約(特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約)への登録を目指した活動の一環として、350人が集まり、海岸清掃と干潟の生物多様性学習を実施しました。



スポット

三重のピカ1

三重県でピカッと輝く  
企業を紹介します。

MIYAWO

株式会社ミヤオカンパニーリミテド



- 名称 / 株式会社ミヤオカンパニーリミテド
- 所在地 / 〒510-0002 三重県四日市市羽津中3-1-17
- 代表者 / 代表取締役社長 大上義人
- 事業内容 / 電気機器用セラミック製品の製造・販売、洋食器の設計開発・販売

ピカ1 どこにも負けない耐熱製品!

生活に寄り添って

社内のショールームに入ると美しい食器がずらり。ミヤオカンパニーリミテドは、耐熱製品や食器を開発・生産する会社です。1931年に創業、今年で86年目という長い歴史を持っています。企業理念は、「セラミック製品(焼き物)を通して、皆様の生活をより豊かにすること。2007年には経済産業省主催、「第2回ものづくり大賞」(伝統技術の応用部門)優秀賞、2008年には経済産業省中小企業庁編「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業300社」に選出されました。お客様の声を忠実に再現するために、日々研究・開発・生産を行っている、イマ熱い企業です。



▲ショールームの入り口には自慢のセラミック製品が並ぶ

ミヤオカンパニーリミテドのここがすごい!

大上社長に、他社に負けないものを聞いたところ、「耐熱製品は、他社に負けない!」とのことでした。特に、耐熱温度など特性をもつ素材(素地、釉薬)の開発技術や、家電メーカーの寸法精度などの要求に答えられる製造技術など、技術力に自信がうかがえました。

今回取材した本社四日市工場では、家電メーカー向けの炊飯器の内釜やレンジのトレーなどセラミック製品が生産されています。より良い製品を世に出すために、素材となる土から研究・開発を行っています。

常に何が必要とされているかに重きを置き、変化する需要に応え続ける企業。そんなミヤオカンパニーリミテドの魅力は、チャレンジしやすく、意見を言いやすい環境があることです。三重大卒業生で入社して6年目の技術部の野崎さんは、「失敗しても怒られることはありません。だから、挑戦しやすいです。」と話していました。

また、社長からは、「上下、部署の隔たりをなくす努力をしています。」という言葉もありました。製品を作っていく上で、どの部署、どのポジションの人も欠けてはならない。一貫生産によって、原料から厳選し調査・開発する技術と、それをコントロールできる製造技術が組み合わされていることも強みの一つです。



▲(左から) 三重大卒業生の野崎さんと阿部さん、大上社長

社長はどんな人?

先述の野崎さんと同じく、三重大卒業生である技術部長阿部さんに、社長がどんな人なのか、聞いてみました。「社長は、心配りがすごいです。自分自身も忘れてたところに、自分の手の怪我の心配をしてくれました(笑)。」「とにかく人望が厚い人だと思います。働き始めて二十数年ですが、社長になる前から悪口を聞いたことがありません。」ミヤオカンパニーリミテドの大上社長は、社長に就任して1年半。社長に就任する前は不安もあったと言いますが、このように社員から慕われています。大上社長にも、社員2人の良さを聞いてみたところ、それぞれの良さが口からすらすら出てきました。社員を思いやる温かい人柄が伝わってきました。



▲工場では手作業でおこなわれる工程も

とても素敵な雰囲気でした。  
多くの三重大生に知ってほしい  
企業です!



岡田 レポーター

岡田 華保(三重大学生物資源学部共生環境学科 環境デザインプログラム 3年)

SPOT

CLUB・CIRCLE クラブ・サークル Information クラブ・サークル

トライアスロン部

活動は  
日時 / 毎週月曜日・水曜日 16:30~18:00  
土曜日 9:00~12:00  
活動場所 / 学内グラウンド、学内プール、津市内



こんにちは!トライアスロン部です。トライアスロンはスイミング、サイクリング、マラソンの3種目を連続で行うスポーツです。これだけ聞くと、「うわ、なんだかつらそう…」と思われるかもしれませんが、しかし、しっかりと練習をすれば誰でも完走できる楽しいスポーツです!ほぼ毎年地区大会入賞者、全国大会出場者を輩出しています。私たちトライアスロン部は明るく楽しくをモットーに、現在週3回18人で活動しています。その他にも、大会や合宿などで遠出をすることも多いです。みんなで一緒に競技に挑み、乗り越える達成感は格別です!インカレを目指す人から、ダイエット目的の人まで和気あいあいと練習を楽しんでいます。未経験だけど興味があるという方、運動不足解消に何かスポーツを始めたい方、全国大会を目指したいという方だけでも大歓迎です!詳しくはHPをご覧ください!



代表 今津 雄一郎 (生物資源学部 3年)  
【サイトURL】<http://mieunivtriathlon.wixsite.com/mie-triathlon>  
【Twitter URL】<https://mobile.twitter.com/mie3athlon>



つくしんぼサークル

活動は  
日時・活動場所 / 各自興味のあるボランティアに参加



みなさん、こんにちは!つくしんぼサークルです!突然ですが、ボランティア活動に興味はありますか?私たちつくしんぼサークルは、障がいのある方との交流を中心としたボランティア活動を行っています。

主な活動内容は、障がい者福祉施設での交流活動、大学祭二日目のこどもまつりへの参加、一般に募集されるボランティアへの参加等です。具体的には、レクリエーションを企画・実行したり、子どもたちと交流したりしています。

つくしんぼサークルの活動では、多くの人と出会い、様々な経験を積むことができます。それらのひとつひとつの出会い・経験を大切にすることで、自分の世界を広げていくことにもつながっていくと思います。

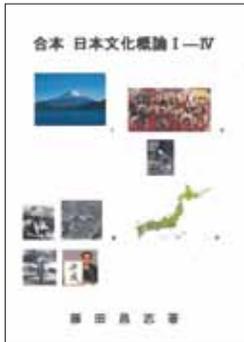
人と関わることが好きな方!ボランティアに興味のある方!障がいの有無にとらわれず、楽しい時間をみんなで一緒に過ごしませんか?



代表 向井 友香 (教育学部 3年)  
【Twitter URL】<https://twitter.com/MieTukusi123>



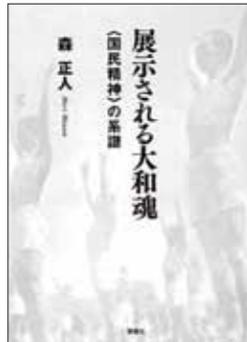
## 本の紹介



### 『合本 日本文化概論 I-IV』

過去作成の『日本文化概論I』～『IV』を合本にして、問題を付けました。地理編、歴史編、キーワード編別に日本文化を知り、再認識するテキストとして日本人も留学生も活用できます。

単著／藤田 昌志  
(地域人材教育開発機構・准教授)  
頁数／230ページ  
附属図書館にて閲覧・貸出可  
上製・並製の二種あり



### 『展示される大和魂』

日本人の道徳を賞賛したり、それを強化しようとする動きが、近年、先鋭化しています。日本人が持っている精神性とは、実は、この200年ほどで主張されるようになり、日清・日露戦時中に強調されます。それがどのようなモノや歴史上の人物、博覧会などで提示されたのかを見ながら、私たち「日本人」とは何なのかを考えます。

単著／森 正人(人文学部・准教授)  
定価／2,600円(税抜)  
発行／新曜社  
頁数／282ページ  
ISBN / 978-4-7885-1519-2



### 『行動しながら考えよう 研究者の問題解決』

「教授と馬が合わない」、「自信が持てない」、「留学等のキャリアをどうするか」といった「研究生生活の悩み」に効く解決策が、実体験を踏まえて紹介されています。読み進めると自然と気持ちが前向きになっていく本です。

単著／島岡 要(医学系研究科・教授)  
定価／2,400円(税抜)  
発行／羊土社  
頁数／239ページ  
ISBN / 978-4-7581-2078-4



### 『産婦人科スーパーレッスン 広汎子宮全摘出術 ハイビジョン&DVD動画で完全理解』

本書は「子宮体癌・卵巣癌におけるStaging Laparotomy」「腹式単純子宮全摘術」に続く第三弾です。広汎子宮全摘出術は産婦人科手術の中で最も難易度が高い手術ですが、付属のDVDで実際の手術手技が音声解説付きで見ることができ、手術の指南書として最適です。

単著／田端 務(医学部・准教授)  
定価／19,000円(税抜)  
発行／メディカ出版  
頁数／216ページ  
ISBN / 978-4-8404-5823-8



### 『急性期ケアにおける輸液管理』

筆者は、医学部医学科・看護学科での講義ノートから、かつて「周術期輸液の考えかた」(南江堂)を医師対象に出版した。今回、看護師を主な対象として、わかりやすさをモットーに輸液剤の種類や使い分けの考えかたを解説した。

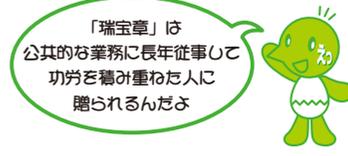
単著／丸山 一男(医学系研究科・教授)  
定価／3,400円(税抜)  
発行／メディカ出版  
頁数／296ページ  
ISBN / 978-4-8404-5818-4



### 『城郭と由緒の戦争論』

筆者3冊目の本論集においては、丹波八上城・伊勢木造城の復原、郷土や豪農層が主張する由緒の分析、大規模戦争の総合調査を通じて、日本の中世から近世への移行期像を侵略される地域の立場から一貫して追究した。

単著／藤田 達生(教育学部・教授)  
定価／10,000円(税抜)  
発行／校倉書房  
頁数／446ページ  
ISBN / 978-4-7517-4740-7



## 平成29年 春の叙勲受章者

- 瑞宝中綬章(教育研究功労)  
名誉教授(元三重大学教育学部・教授)  
野上 卓三博
- 瑞宝中綬章(教育研究功労)  
名誉教授(元三重大学教育学部・教授)  
若松 孝慈

## 教職員表彰

### 平成28年度栄養関係功労者知事表彰

(2016.11.15)

医学部附属病院 栄養管理部 食事療養室  
中野 芳恵 室長

医療機関において、患者の病態や嗜好に応じた特別治療食の献立作成・調理に中心となって取り組むとともに、減塩治療食教室の開催・減塩方法に関する講義や味覚テスト等を行うことにより、患者の栄養改善に貢献したことが評価され、この度の受賞となりました。



受賞者	受賞名(受賞日)
工学部 古川 真衣 技術員	2016年学会誌「分析化学」若手初論文賞受賞 (2017.2.8)
医学部附属病院 西濱 康太 医師	第45回日本免疫学会学術集会 ベストプレゼンテーション賞 (2017.2.8)
工学研究科 稲葉 忠司 教授 医学系研究科 笠井 裕一 教授	2016年度 日本機械学会東海支部賞技術賞 (2017.3.14)
生物資源学研究科 吉原 佑准 教授	日本生態学会宮地賞 (2017.3.17)
教育学部 森川 孝太郎 准教授	AN ART ARTISTRY Composition competition “The contemporary piano 2017”入選 (2017.5.17)



### 『村上陽一郎の科学論 批判と応答』

共著／小川 眞理子(名誉教授)  
定価／3,900円(税抜)  
発行／新曜社  
頁数／436ページ  
ISBN / 978-4-7885-1506-2



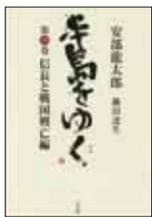
### 『忍者の誕生』

編著／吉丸 雄哉(人文学部・准教授)  
山田 雄司(人文学部・教授)  
定価／3,600円(税抜)  
発行／勉誠出版  
頁数／320ページ  
ISBN / 978-4-585-22151-7



### 『景観計画の実践』

共著／浅野 聡(工学研究科・准教授)  
定価／3,800円(税抜)  
発行／森北出版  
頁数／208ページ  
ISBN / 978-4-627-58181-4



### 『半島をゆく 第一巻 信長と戦国興亡編』

共著／藤田 達生(教育学部・教授)  
定価／1,500円(税抜)  
発行／小学館  
頁数／324ページ  
ISBN / 978-4-09-343442-3



### 『三重学』

編著／朴 恵淑(人文学部・教授)  
定価／3,800円(税抜)  
発行／風媒社  
頁数／362ページ  
ISBN / 978-4-8331-1118-8



### 『Electronic Fetal Heart Rate Monitoring : The 5-tier System』

共著／池田 智明(医学系研究科・教授)  
定価／アメリカ\$72.95  
発行／Jones & Bartlett Pub  
頁数／242ページ  
ISBN / 978-1-284-09033-8



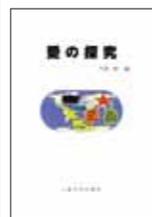
### 『新しい真空脱水コンクリート工法 理論と施工の実際』

編著／畑中 重光(工学研究科・教授)  
定価／2,000円(税抜)  
発行／工文社  
頁数／144ページ  
ISBN / 978-4-905975-47-2



### 『愛知県史 通史編6』『愛知県史 通史編7』

共著／田中 亜紀子(人文学部・教授)  
定価／5,500円(税込)  
発行／愛知県  
頁数／通史編 6 868ページ  
通史編 7 836ページ  
愛知県総務部法務文書課県史編さん室より直接購入可



### 『愛の探究』

編著／片倉 望(人文学部・教授)  
定価／1,112円(税抜)  
発行／三重大学出版会  
頁数／179ページ  
ISBN / 978-4-903866-39-0



## クラブ・サークル表彰



つくしんぼサークル  
つくしんぼ(子どもボランティア)サークルが、「平成28年度公益財団法人三重子どもかもの育成財団表彰」を受賞しました。  
(2017.3.17)



硬式野球部  
平成29年度東海地区大学野球春季三重県リーグ  
優勝  
(2017.5.14)



陸上競技部  
医学部医学科5年生  
細澤 幸輝  
第83回東海学生陸上競技対校選手権大会  
男子5000m  
優勝  
(2017.5.14)

学生表彰

※( )内は指導教員  
学年は受賞当時

第168回日本鑄造工学会全国講演大会  
学生優秀講演賞

(2016.10.7)  
大学院工学研究科(博士前期課程)1年 宗宮 圭吾  
(矢野 賢一 教授)



2016年度日本建築学会大会学術講演会  
若手優秀発表賞

(2016.10.15)  
大学院工学研究科(博士前期課程)1年 高田 直紀  
(浅野 聡 准教授)



Global Wireless Summit 2016  
THE BEST PAPER

(2016.11.29)  
大学院工学研究科(博士前期課程)1年 前本 大輝  
(森 香津夫 教授)



日本生態学会 中部地区大会  
2016年度 優秀ポスター賞

(2016.12.3)  
生物資源学部4年 河合 将生  
(松田 陽介 教授)



日本生態学会 中部地区大会  
2016年度 優秀ポスター賞

(2016.12.3)  
生物資源学部4年 澤山 りりん  
(木佐貴 博光 教授)



2016 ASIANALYSIS XIII  
BEST POSTER

(2016.12.11)  
大学院工学研究科(博士前期課程)2年 三ツ山 智貴  
(勝又 英之 准教授)



第12回バイオマス科学会議  
ポスター賞

(2017.1.17)  
大学院生物資源学研究科(博士前期課程)1年 高柳 小春  
(野中 寛 准教授)



平成28年度刑事政策に関する懸賞論文  
佳作

(2017.1.18)  
人文学部3年 八木 菜文  
(田中 亜紀子 教授)



日本産業技術教育学会  
第11回発明・工夫作品コンテスト 奨励賞

(2017.2.9)  
教育学部4年 勝間田 共平  
(松岡 守 教授)



日本産業技術教育学会  
第11回発明・工夫作品コンテスト 奨励賞(2件)

(2017.2.9)  
教育学部3年 廣瀬 泰弘  
(松岡 守 教授)



「歩きスマホ防止!」駅・電車内の事故防止・  
マナー向上ポスター 優秀作品

(2017.2.27)  
教育学部3年 倉地 凌馬  
(岡田 博明 教授)



「歩きスマホ防止!」駅・電車内の事故防止・  
マナー向上ポスター 優秀作品

(2017.2.27)  
教育学部3年 古川 実沙季  
(岡田 博明 教授)



ISPlasma2017/IC-PLANTS2017  
Best Presentation Award

(2017.3.2)  
大学院工学研究科(博士前期課程)2年 吉澤 涼  
(三宅 秀人 教授/平松 和政 教授)



第29回優秀板金製品技能フェア  
優秀賞

(2017.3.4)  
大学院工学研究科(博士前期課程)2年 杉浦 康史  
(中西 栄徳 准教授/尾崎 仁志 助教)



照明学会東海支部 平成28年度  
若手セミナーシンポジウム 研究奨励賞

(2017.3.4)  
大学院工学研究科(博士前期課程)1年 峯 啓太  
(元垣内 教司 准教授)



日本熱帯農業学会  
学生優秀発表賞 学生優秀ポスター発表賞

(2017.3.11)  
大学院生物資源学研究科(博士後期課程)3年 吉田 純子  
(後藤 正和 教授)



日本機械学会 第48回学生員卒業研究発表講演会  
Best Presentation Award

(2017.3.13)  
工学部4年 藤本 貴大  
(稲葉 忠司 教授/吉川 高正 准教授)



The 2nd International Symposium on Innovative  
Education and Technology (ISIET) 2017  
Best Paper Award (2017.5.11)

大学院工学研究科(博士前期課程)2年 家喜 優大  
(矢野 賢一 教授)



市民開放授業

●平成29年度後期三重大学市民開放授業

- 開放授業科目○  
(人文学部) 特殊講義 協同組合論、日本考古学特講H、フランス文学演習F、ドイツの言語D、中国語作文B、中国語会話B  
(教育学部) 被服構成学、被服実習I、日本語教授法  
(工学部) 西洋・近代建築史、建築基礎構造  
(生物資源学部) 農林学総論、国際農業開発学、景観設計論、地球環境学概論、生態圏循環学、水族生物学  
(国際交流センター) 基礎I生活日本語1B、基礎II生活日本語3B、中級I読解・作文B、中級II読解・作文B  
(教養教育機構) 防災論(自然災害と防災・減災)、異文化理解I演習(ドイツ語A)b、英語II発展E、日本史B(忍者の歴史)、医学医療D(暮らしと看護)、現代社会理解特殊講義(MIEUポイント)、比較政治文化(政治文化を比較する)、地域学(オセアニアの教育事情)

- 開催期間○ 2017年後期の講義期間 平成29年10月2日(月)～平成30年2月2日(金)
  - 募集定員○ 1科目2名～10名(授業科目により異なります。)
  - 受講料○ 1科目9,400円
  - 受講資格○ ありません。ただし、受講条件や授業の概要を確認し、お申し込みください。
  - 受講申込受付期間○ 平成29年9月1日(金)～9月8日(金)
  - 問合せ○ 学務部教務チーム / ☎059-231-6544  
または、各学部学務担当等(募集要項参照)
- URL <http://www.mie-u.ac.jp/neighborhood/extension.html>  
※詳細は上記URLをご確認ください。

●平成29年度生物資源学部特別教育プログラム

- 開放授業科目○  
●農学関連特別プログラム(後期コース)  
植物育種学、園芸植物生理学、食用作物学、昆虫学、植物病理学、フィールドサイエンスセンター農場実習III
- 森林関連特別プログラム(後期コース)  
森林育成学、森林・緑環境評価学、森林利用システム学、治水砂防・森林保全学、森林・緑環境計画学、森林生物学実験
- 水産関連特別プログラム(後期コース)  
分子生態学、海事概論、水族発生学、藻類学、浮遊生物学、水産生物学実習
- 開催期間○ 2017年後期の講義期間
- 募集定員○ 各プログラム若干名
- 受講料○ 入学検定料:9,800円 入学科:28,200円  
授業料:1科目9,400円、後期コース56,400円
- 受講資格○ 学校教育法第90条第1項の規程により大学に入学することができる者で、教授会が当該プログラムを履修するに十分な学力があると認められた者。
- 受講申込受付期間○ 平成29年7月31日(月)～8月4日(金)
- 問合せ○ 生物資源学研究科チーム学務担当 / ☎059-231-9631、9633、9735  
URL <http://www.bio.mie-u.ac.jp/PDF/H29%20specialprogram.pdf>  
※詳細は上記URLをご確認ください。

公開講座・シンポジウムなど

●人文学部 伊賀連携フィールド2017年度前期  
市民講座「忍者・忍術学講座:伊賀から忍者を考える」

- 会場○ ハイピア伊賀3階 コミュニティ情報プラザホール
- 受講料・定員○ 無料(申込不要)・自由参加
- 受講対象者○ 市民一般
- 問合せ○ 人文学部チーム総務担当 / ☎059-231-6991  
E-mail: info-hum@ab.mie-u.ac.jp

- ①戦国時代 伊賀国の石造物情勢は複雑怪奇なり
- 講師○ 竹田憲治(三重県教育委員会社会教育・文化財保護課長)
- 日時○ 平成29年7月15日(土)10:30～12:00
- ②伊賀上野の武家屋敷
- 講師○ 菅原洋一(工学部・教授)
- 日時○ 平成29年8月19日(土)10:30～12:00
- ③忍者食はストレス社会に活かせるか?
- 講師○ 久松 真(三重大学社会連携研究センター・特任教授)
- 日時○ 平成29年9月16日(土)10:30～12:00

●?「発見塾」

- 会場○ ①②③津リージョンプラザ2階 健康教室  
④一志農村環境改善センター  
⑤三重県生涯学習センター
- 受講料・定員○ 無料(申込不要)・自由参加
- 受講対象者○ 市民一般
- 問合せ○ 三重大学附属図書館 / ☎059-231-9032  
E-mail: lib-kikaku@ab.mie-u.ac.jp

- URL <http://www.mie-u.ac.jp/hakugaku/hakken/>
- ①地震と津波から命を守る
- 講師○ 葛葉泰久(生物資源学部・教授)
- 日時○ 平成29年7月15日(土)13:30～15:00
- ②国の文化財になった鳥羽・志摩の海女ーその歴史と魅力ー
- 講師○ 塚本 明(人文学部・教授)
- 日時○ 平成29年9月30日(土)13:30～15:00
- ③NOと言える日本?ー戦後日本における日常生活のアメリカ化ー
- 講師○ 森 正人(人文学部・准教授)
- 日時○ 平成29年11月25日(土)13:30～15:00
- ④YUBAメソッド:カラオケ達人への道ー歌謡ショー&オープンレッスンー
- 講師○ 弓場 徹(教育学部・教授)、小畑真梨子(教育学部・講師)
- 日時○ 平成30年1月20日(土)13:30～15:00
- ⑤忍者も行ってた集中と休息の切り替えー効果的なリラックス法ー
- 講師○ 小森照久(医学部・教授)
- 日時○ 平成30年3月24日(土)13:30～15:00

●第35回三重大学工学部建築学科「建築展2017」

- 受講料○ 無料(申込不要)
- 受講対象者○ 建築に興味のある学生・市民・専門家
- 問合せ○ 工学部 浅野 聡 / ☎059-231-9441
- 「建築展2017」卒業設計+修士設計展
- 日時○ 平成29年8月2日(水)～8月6日(日)9:00～17:00  
※2日は13:00より開催、6日は15:00終了
- 会場○ 三重県立美術館 県民ギャラリー
- 定員○ 自由参加
- 建築展特別講演会「住宅設計の考え方と近作について」
- 講師○ 横内敏人(京都造形芸術大学環境デザイン学科・教授)
- 日時○ 平成29年8月5日(土)13:00～15:00
- 会場○ 三重県立美術館 講堂
- 定員○ 150名(当日先着順)



夏季休業

三重大学における  
夏季一斉休業について

8/14・15・16

三重大学(医学部附属病院を除く)では、夏季一斉休業日を含む8月14日(月)～16日(水)の間、休業とさせていただきます。ご理解の程よろしくお願ひします。



● みえアカデミックセミナー2017 本能寺の変 ～新史料でなにがわかったのか～

○講師 ○ 藤田達生 (教育学部・教授)
○日時 ○ 平成29年8月19日(土)13:30～
○会場 ○ 三重県文化会館1階 レセプションルーム
○受講料 ○ 無料(要申込)
○受講対象者 ○ 市民一般
○申込方法 ○ 三重県生涯学習センター窓口、電話・FAX、E-mail、またはホームページから
○問合せ ○ 三重県生涯学習センター / ☎059-233-1151・FAX059-233-1155
E-mail: manabi-kouza@center-mie.or.jp
URL http://www.center-mie.or.jp/manabi/

● 第20回リフレッシュ理科教室 同時開催: 親のための理科教室

○講師 ○ 三重大学大学院工学研究科教員他
○日時 ○ 平成29年8月26日(土) ※全3回同日開催
1回目 10:00～11:30、2回目 13:00～14:30、3回目 15:00～16:30
○会場 ○ 三重大学 講堂
○受講料・定員 ○ 無料(要申込)・180名(1回につき60名)
○受講対象者 ○ 小学3年生～中学生
○申込方法 ○ 下記URLよりご確認ください。
○申込期間 ○ 平成29年7月1日～7月31日
○問合せ ○ E-mail: refresh@ne.phen.mie-u.ac.jp
URL http://www.ne.phen.mie-u.ac.jp/user/RefreshRika/

● 生物資源学研究科「産学官コミュニティシンポ2017」

○日時 ○ 平成29年9月1日(金) ※時間は未定
○会場 ○ 三重大学生物資源学部校舎
○受講料・定員 ○ 無料(要申込)・自由参加
○受講対象者 ○ 企業・団体の皆さま、高校教員
○申込方法 ○ メール・郵送・FAX
○申込期間 ○ 平成29年8月24日迄
○申込・問合せ ○ 生物資源学研究科チーム総務担当 / FAX059-231-9634
E-mail: renkei@bio.mie-u.ac.jp
URL http://www.bio.mie-u.ac.jp/ ※詳細は決定次第URLに掲載予定

● 三重大サイエンスカフェ

○時間 ○ 15:00～17:00(開場14:30)
○会場 ○ 津駅前 伊勢門本店【EBIRO】 ソシアビル1F
○受講料・定員 ○ 500円ドリンク付(要申込)・先着40席限定(定員になり次第締切)
○受講対象者 ○ 市民一般
○申込方法 ○ FAXまたはE-mail
○問合せ ○ 地域イノベーション推進機構研究推進チーム
☎059-231-9704 / FAX 059-231-9705
E-mail: ken-sokatu@ab.mie-u.ac.jp

【開催予定】

- 第19回 ○講師 ○ 浅野 聡(工学部・教授)
○開催日 ○ 平成29年9月5日(火)
■ 第20回 ○講師 ○ 田中綾乃(人文学部・准教授)
○開催日 ○ 平成29年11月28日(火)
■ 第21回 ○講師 ○ 橋本 篤(生物資源学部・教授)
○開催日 ○ 平成30年3月6日(火)
※講演者は事情により変更する場合がありますのでご了承ください

● パープルリボン2017 in 津 ウォーク&セミナー

○日時 ○ 平成29年9月10日(日)
○会場 ○ 第一部(ウォーク)9:00～11:30 / 三重大学構内
第二部(セミナー)13:00～16:30 / 三重大学 三翠ホール
○受講料・定員 ○ 無料(申込不要)・先着各400名
○受講対象者 ○ 市民一般
○問合せ ○ 三重大学肝胆膵・移植外科 / ☎059-232-1111(代)
URL http://www.hosp.mie-u.ac.jp/pancan/index.html

● 一般社団法人日本脳神経外科学会市民公開講座

○日時 ○ 平成29年9月17日(日)9:30～11:30
○会場 ○ 三重県総合文化センター 小ホール
○受講料・定員 ○ 無料(申込不要)・280名(予定)
○受講対象者 ○ 市民一般
○問合せ ○ 第93回日本脳神経外科学会中部支部会事務局
E-mail: neurosurgery@clin.medic.mie-u.ac.jp

● 人文学部「公開ゼミ」・「公開講座」

○会場 ○ 三重大学人文学部
○受講対象者 ○ 市民一般
○申込方法 ○ 電話、FAX、E-mail
○申込期間 ○ 8月初旬～各開講日の5日前まで
○問合せ ○ 人文学部チーム総務担当
☎059-231-6991、9196・FAX 059-231-9198
E-mail: info-hum@ab.mie-u.ac.jp

URL http://www.human.mie-u.ac.jp/chiiki/kouza/
※詳細は上記URLをご確認ください

【公開ゼミ】

○受講料・定員 ○ 無料・原則20名(定員まで先着順に受け付けます)

- ① 憲政の神様と立憲主義
○講師 ○ 内野広大(人文学部・准教授)
○日時 ○ 平成29年10月4日(水)、10月18日(水) / 16:20～17:50
② 前近代中国における女性政治家
○講師 ○ 酒井恵子(人文学部・准教授)
○日時 ○ 平成29年10月6日(金)、10月13日(金)、10月20日(金) / 13:00～14:30

【公開講座】

- 受講料・定員 ○ 無料(要申込)・自由参加
① 労働時間規制のあり方
○講師 ○ 藤本真理(人文学部・准教授)
○日時 ○ 平成29年9月20日(水) 10:30～12:00
② 株式と株主
○講師 ○ 名島利喜(人文学部・教授)
○日時 ○ 平成29年9月20日(水) 13:00～14:30
③ 意味の文脈依存性について: 言語学と社会との接点について考える
○講師 ○ 澤田 治(人文学部・准教授)
○日時 ○ 平成29年10月3日(火) 10:30～12:00
④ ロシアから見る世界-ロシア革命100周年・ソ連崩壊から四半世紀の世界
○講師 ○ 樹神 成(人文学部・教授)
○日時 ○ 平成29年11月7日(火) 19:00～20:30
⑤ グローバリゼーションの政治経済学
○講師 ○ 森原康仁(人文学部・准教授)
○日時 ○ 平成29年11月8日(水) 19:00～20:30
⑥ 邪馬台国の概略の位置は決まらないのか?
○講師 ○ 小澤 毅(人文学部・教授)
○日時 ○ 平成29年11月15日(水) 14:40～16:10
⑦ 「文字」から伝わる意味
○講師 ○ 大喜祐太(人文学部・講師)
○日時 ○ 平成29年11月29日(水) 13:00～14:30

● 第15回青少年のための科学の祭典・三重大学大会 同時開催: 第11回サイエンスonステージ

○日時 ○ 平成29年11月11日(土)13:00～17:00、12(日)10:00～16:00
○会場 ○ 三重大学講堂
○出展者 ○ 三重大学教員・学生、中学校・高校教員、高校生、科学ボランティア
○受講料・定員 ○ 無料(申込不要)・自由参加
○受講対象者 ○ 小学生、保護者、市民一般
○問合せ ○ 教育学部 後藤太郎 / ☎059-231-9260
URL http://sci.edu.mie-u.ac.jp/

● 教養教育機構「公開講座」

「教養教育ウィーク-Freshmenの気分」: 最大6講座受講可

○会場 ○ 三重大学教養教育校舎
○受講対象者 ○ 市民一般
○受講料・定員 ○ 資料代500円(1講座でも6講座でも同一料金) ※要申込・先着50名
○問合せ ○ 教養教育機構チーム総務担当
☎059-231-9820、9827・FAX 059-231-9353
E-mail: kyoyosomu@ab.mie-u.ac.jp

URL http://www.ars.mie-u.ac.jp/ ※詳細は決定次第URLに掲載予定

- ① 日本外交史の中の同盟と「安全保障のディレンマ」
○講師 ○ 中谷直司(教養教育機構・特任准教授)
○日時 ○ 平成29年11月13日(月)10:30～12:00
② オセアニアの島のくらしと教育
○講師 ○ 奥田久春(教養教育機構・特任講師)
○日時 ○ 平成29年11月13日(月)13:00～14:30
③ 学名を嫌いにならないで!
○講師 ○ 福田知子(教養教育機構・特任講師)
○日時 ○ 平成29年11月15日(水)10:30～12:00
④ 音を診る一騒音の計測と評価一
○講師 ○ 野呂雄一(教養教育機構・准教授)
○日時 ○ 平成29年11月15日(水)13:00～14:30
⑤ マイナスイオンや水素水は体に良いのか?～科学とニセ科学
○講師 ○ 和田正法(教養教育機構・講師)
○日時 ○ 平成29年11月17日(金)10:30～12:00
⑥ 社会問題の論じ方: 論証ゲームで学ぶ社会学(入門編)
○講師 ○ 林原玲洋(教養教育機構・講師)
○日時 ○ 平成29年11月17日(金)13:00～14:30

● 三重大学医学部附属病院感染制御部「公開講座」 上手に付き合おう「バイキン」と「クスリ」 ～知っていますか「薬剤耐性菌」のこと～

○講師 ○ 具 芳明(国立国際医療研究センター・医師)、田辺正樹(附属病院・医師) 他
○日時 ○ 平成29年11月23日(木・祝) 13:00～16:00
○会場 ○ 三重大学講堂三翠ホール
○受講料・定員 ○ 無料(要申込)・500名
○受講対象者 ○ 市民一般
○申込方法 ○ FAX・ホームページ ○申込期間 ○ 平成29年9月～11月13日迄
○申込先 ○ 三重大学医学部附属病院感染制御部 / FAX 059-231-5704
○問合せ ○ 新居 E-mail: kansen@clin.medic.mie-u.ac.jp
MielCNet HP http://www.mie-icnet.org/ ※詳細は決定次第HPに掲載予定

● 生物資源学部「公開講座」

○日時 ○ 平成29年10月末～11月頃
○会場 ○ 三重大学生物資源学部校舎
○受講料・定員 ○ 無料(要申込)・50名
○受講対象者 ○ 高校生以上市民一般
○申込方法 ○ メール・郵送 ○申込期間 ○ 未定
○申込・問合せ ○ 生物資源学研究科チーム総務担当 / ☎059-231-9673
E-mail: bio-somu@ab.mie-u.ac.jp
URL http://www.bio.mie-u.ac.jp/ ※詳細は決定次第URLに掲載予定

● 医学部「公開講座」

○日時 ○ 平成29年秋頃開催予定
○会場 ○ 三重大学医学部
○受講料・定員 ○ 無料(要申込)・100名
○受講対象者 ○ 市民一般
○申込方法 ○ 郵送・FAX・メール ○申込期間 ○ 未定
○問合せ ○ 医学・病院管理総務課総務係
☎059-231-5428・FAX059-232-7498
E-mail: s-soumu@mo.medic.mie-u.ac.jp
URL http://www.medic.mie-u.ac.jp/event/opensemi.php ※詳細は決定次第URLに掲載予定

F M 三重で放送中!!

● ～学生の企画するFMラジオ番組～

「Campus CUBE」

毎週金曜日20:30～20:55に放送中です!

皆さん、聴いてください!

パーソナリティー募集!

対象は三重大学生です! ぜひご応募ください!



★応募先★

三重大学企画総務部総務チーム 広報室 TEL 059-231-9789

メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています(発行:毎月1回)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、「三重大」に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしています。

配信お申込み方法

次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。
1.メールのタイトルは『メールマガジン希望』と記入してください。
2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。
① 配信先メールアドレス ② 氏名
koho.m-maga@ab.mie-u.ac.jp
できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。

三重大学公式SNS (Facebook, Twitter)を始めました!

Facebook: 三重大学ホームページからアイコンをクリック!
Twitter: @MieUniversity で検索!
YouTube: YouTubeサイト内で「mieuniversityweb」と検索!

# 編集後記 vol.9

三重大Xは、ドキドキ、感動、発見、夢、希望、笑顔などをギュッと詰め込んだ三重大学の情報の宝箱であってほしいと思います。この冊子を通して素敵な出会いがあれば、なおよしいです。(ささゆり)



初めてのえっくすの編集に関わり、「留学・留学生」特集を担当しました。学生さんに体験談をインタビューしていると、自分自身も学生時代留学していたことを思い出してまた海外に行きたくなってきました！写真は留学中ドイツで撮ったものです。(Mary)



今回初めてえっくすの制作に携わりました。今号も三重大情報たっぷり、読み応えのある内容になっていますので、たくさんの方に読んでいただけたらと思います！写真は私の元気の源オムライスです。(むら)



今年度からえっくす発行月が6月と12月になりました。高校生の皆さん8月のオープンキャンパスにぜひ来てください。貴方の学びたいものが見つかるかも…。選択枝を広げてください。そして来たれ三重大学へ！(ともぞー)



COC+特集は学生さんが執筆してくれました。若さに溢れた爽やかな内容です。写真はキャンパスの航空写真撮影に使用したドローンです。おもしろい写真が沢山撮れました！またHPや広報誌等で紹介していきますので、お楽しみに！(sumi)



「仕事は計画的に。趣味は気のむくままに。」なスタイルですが、アクセサリ材料を準備していたのに半年も放置していたことに気づき、流行遅れになる前になんとか完成させようと思います。(nico)



休日に、大学の周辺を散歩していると、町屋海岸の堤防の近くで、沢山の車を見かけました。潮干狩りの季節なんですね。大学の近くにこんな綺麗な海岸があることを再認識しました。(北の大地)



## アンケートに答えて… 三重大大学オリジナルグッズをもらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。平成29年9月30日(土)(当日消印有効)までにアンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で5名に「三重大大学ブランド商品詰め合わせ(三重大大学カレー2箱、三重大大学魚醤「鮭びしお」1本、三重大大学学長給1袋、三重大大学オリジナルバッグ1個)」を、30名に「オリジナル文具セット(付箋1個、蛍光マーカー(3本入)1個)」をお送りします。どしどしお寄せください。

\*当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

→「三重大大学ブランド商品詰め合わせ」、「オリジナル文具セット」をご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。



三重大大学ブランド商品詰め合わせ 抽選で5名様  
オリジナル文具セット 抽選で30名様

## 教養は、エネルギーだ。

10月入学生募集!

テレビ・ラジオ・インターネットで学べます。  
1科目(2単位)11,000円(教材費を含む)から。  
入学試験はありません。(大学院博士全課程、修士全課程を除く)  
キャリアアップ(現職教員・看護師・准看護師の方)や資格取得、生涯学習など目的に応じた学び方ができます。

出願期間 第1回募集 平成29年6月15日(木)～8月31日(木)  
第2回募集 平成29年9月1日(金)～9月20日(水)  
※第2回募集では、印刷教材の到着時期等が第1回募集と異なりますので、相違点等を学生募集要項・ホームページでご確認ください。

インターネットで資料請求・出願ができます!  
放送大学 後援 [www.ouj.ac.jp](http://www.ouj.ac.jp)  
資料請求専用フリーダイヤル ☎ 0120-864-600

放送大学 三重大学学習センター  
〒514-0061 津市一身田上津部田1234(三重県総合文化センター内)  
TEL 059-233-1170

毎週月曜日 19:00～19:55 ※土曜昼 12:00～再放送

ええじゃないか。 5か国旅行社ええ旅ツアー

堀口文宏(あさりど)と萩美香が「おかけ旅行社」ツアープランナーとなって、シーズンや行事などを吟味したベストタイミングの「ええ旅プラン」をプロデュース!

MTV 三重テレビ放送

artopia co.,ltd.

- ロゴタイプ・シンボルマーク
- 会社案内等各種パンフレット
- キャラクター
- ポスター、DM、チラシ等の企画・制作

有限会社 アートピア  
三重県津市一身田平野182-60 〒514-0111  
TEL059-232-3559 FAX059-232-0506 E-mail:artopia@zvtv.ne.jp

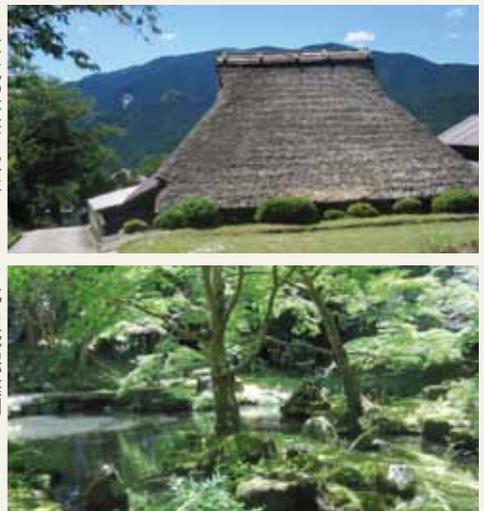
Facebook

毎月第4土曜日 21:00～21:55 ※翌月第3土曜再放送

音楽の源流 ～御食国の鼓動～

第四話 (7/22・8/19) 都をどり～日本舞踊の祭典～  
第五話 (8/26・9/16) 郷土の歌～民謡～  
第六話 (9/23・10/21) 子どもたちの歌～唱歌・童謡～  
第七話 (10/28・11/18) 伝承される祈りの語り～三重のかんご語り～  
第八話 (11/25・12/16) 祭囃子～地車囃子と祇園囃子～  
第九話 (12/23・1/20) 祈りの歌声～声楽～  
第十話 (1/27・2/17) 邦楽の流儀～音楽のメッセージ～

# 歴史街道シリーズ 伊勢本街道 津市美杉町内



▶三多気の茅葺き家屋



▶北畠氏館跡庭園

伊勢本街道は、飛鳥や奈良から伊勢神宮に向かう道として、最も直線的で距離が短く、古代から開かれていました。そして、中世にはのちに戦国大名として勢力をもつ北畠氏が多気を拠点としました。四方を山に囲まれた警固に適した地で、将軍や公家たちが北畠氏を訪ねて本街道を往来したようです。

さらに、近世でも著名な人物が本街道を通り、記録を残しています。たとえば伊勢国の人では、明和九年(一七七二)三月に本居宣長が吉野の帰りに本街道をたどり、石名原に一泊し、北畠氏館跡の庭園を見て歌を詠

んでいます(『菅笠日記』)。また、松浦武四郎も嘉永六年(一八五三)十月に奈良から本街道を通過し、飼坂・櫃坂峠を越えて、現在の松阪市飯南町に至っています(『浪合日記』)。一方、近世には民衆の伊勢参宮も増え、本街道を多く利用しました。それを示すのが「太一」と彫られた常夜灯です。この区域では、杉平、石名原中垣内・払戸・瀬原、奥津谷口に見られます。「太一」は伊勢(太)神宮を指すこともあり、これらは「参宮常夜灯」とも言われています。

本街道には道標も多く、杉平、石名原払戸・下垣内、奥津上多気に残っています。中でも、上多気の道標は嘉永六年に建てられたもので、「すぐいせ道」「すぐはせ道」と彫られ、まっすぐ進むことを案内しています。

なお、北畠氏城館跡は山頂の霧山城跡から麓の館跡(北畠神社)まで広い範囲で史跡指定され、館跡内の庭園は名勝にも指定されています。加えて、本街道沿いの三多気の桜も名勝として有名ですが、同所には近世に建築された茅葺きの家屋(田中家住宅)が今も大切に保存され、登録有形文化財となっています。あわせて紹介します。

三重大学地域イノベーション推進連携  
社会連携特任教授 吉村利男



▶奥津谷口の「太一」常夜灯



▶石名原払戸「太一」常夜灯



▶杉平の「太一」常夜灯



▶多気宿の家並み



▶上多気の道標



三重大学企画総務部総務チーム広報室

●本誌お問い合わせ先 ● 〒514-8507 津市栗真町屋町1577  
●広告掲載のご依頼 ● TEL 059-231-9789 / FAX 059-231-9000  
ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>  
E-mail [koho@ab.mie-u.ac.jp](mailto:koho@ab.mie-u.ac.jp)

\*ご意見をお寄せください。

## 三重大X[えっくす] vol.38

平成29年6月発行  
●発行/三重大学広報委員会  
●編集/三重大学企画総務部総務チーム広報室  
●印刷/有限会社アートピア [artopia@zvtv.ne.jp](http://artopia@zvtv.ne.jp)  
◎禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

# MIE UNIVERSITY OPEN CAMPUS 2017 三重大学オープンキャンパス

- \* 学部紹介
- \* 学生による紹介
- \* 体験授業
- \* なんでも相談コーナー
- \* 研究室見学
- \* 保護者向け企画

8/8 TUE	8/9 WED	8/10 THU
人文学部 生物資源学部	医学部医学科 医学部看護学科	教育学部 工学部

受験生、保護者の皆様へ

三重県、愛知県などで開催する進学説明会等・相談会においても、本学の様々な情報を提供いたします。詳細は、本学ホームページ「入試情報」をご覧ください。



国立大学法人三重大学 学務部入試チーム  
〒514-8507 津市栗真町屋町1577

TEL 059-231-9063

URL <http://www.mie-u.ac.jp/exam/>



三重大学オープンキャンパス2017

検索

※参加にはお申し込みが必要です。申込方法はホームページをご覧ください。

入試相談会開催!! 10月1日(日)

三重大学 環境・情報科学館

「4つの力」で世界に伸びよう

生きる力

考える力

感じる力

コミュニケーション力

生物資源学部 大阪で受験 出願期間(郵送に限る) 平成30年1月22日~1月31日(必着)

## お願 三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学振興基金は、皆様からの「ご寄附」を基金として預かりし、地域からの期待に応える大学に成長・発展を遂げるために必要な、学生(留学生を含む。)の教育活動に対する支援事業や教育研究の充実及び教育研究環境の整備等に必要なる支援事業に活用させていただきます。みなさまの温かいご支援・ご協力をお願いします。

### ○三重大学振興基金事業【幅広く活用させていただく一般事業基金】

三重大学における奨学援助(三重大学修学支援事業基金に規定する事業を除く。)、国際交流及び地域貢献等の一層の進展を図り、もって教育・学術研究の振興に資することを目的とする基金

### ○三重大学修学支援事業基金【用途を限定させていただく特定事業基金】

経済的な理由で修学が困難な学生に対して支援を行うことにより、意欲と能力のある学生が希望する教育を受けられるようにすることを目的とした基金(文部科学省から「税額控除の対象となる証明」を受け、三重大学修学支援事業基金へのご寄附が税額控除対象となりました。)

### ○三重大学教職大学院奨学金【用途を限定させていただく特定事業基金】

三重大学教職大学院への現職教員の進学を積極的に推進し、三重県で活躍する高度な実践力を備えた教員の輩出に寄与することを目的とした基金

### ●募金の方法●

三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、必須事項をご記入の上、郵送下さい。(FAX・E-mailでも受付けております。)また、インターネットによるご寄附も、導入しておりますのでご利用下さい。



### ●ご郵送先・お問合わせ先●

三重大学振興基金事務局【企画総務部総務チーム内】

〒514-8507 津市栗真町屋町1577 TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000

E-mail: [kikin@ab.mie-u.ac.jp](mailto:kikin@ab.mie-u.ac.jp)

URL: <http://www.mie-u.ac.jp/foundation/index.html>

三重大学振興基金

検索

交通のご案内



- 近鉄江戸橋(三重大学前)駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅」(06系統)、「千里駅」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「椋本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「三重大学前」下車。
- 中部国際空港(セントレア)から津エアポートラインで津なぎさまちへ45分
  1. 津なぎさまちから三交バスで「津駅前」まで約15分
  2. 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分



三重大学

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

TEL059-232-1211(代)

<http://www.mie-u.ac.jp/>

